



結びあう世界

知らない国の話

◎はじめに

地球はひとつだ

この地球に153の国がある

キミはいくつの国の名前をいえるか

そう 世界には キミの知らない国ぐにが
まだ まだ たくさんある

食べたいものが食べられる 豊かな国

食べものが不足していて おなかをすかしたまま

死んでいく子どもたちもいる 貧しい国

この本は こうした知らない外国のことを

キミたちにわかりやすいように書いたものだ

いままで知らなかった国を知り

その人びとの生活や考えを理解し

おたがいを知りあおう

地球はひとつだ

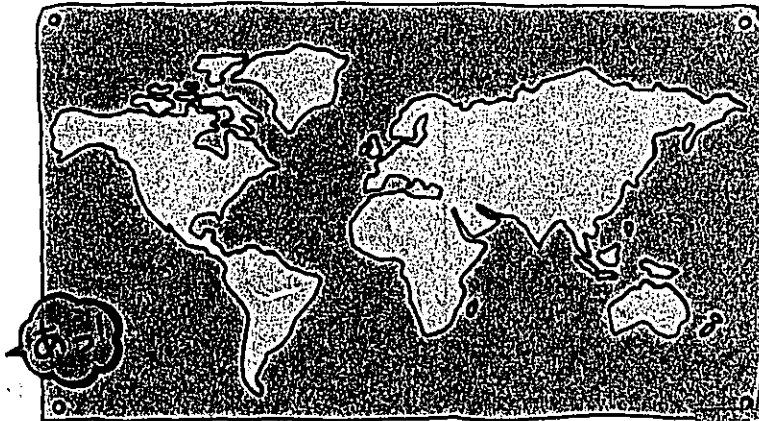
国際協力事業団	
受入 月日 '84. 5. 22	000
登録No. 06488	36
	JV

◎この本を考えた
人びと

いしかわ よしただ
おおた やちよ
くわばら しん
こくぼ しげあき
せきぐち きよはる
はまだ かずゆき
みうら しゅもん
やまぐち としお
よしおか あつし

「あっ！日本がない？」
そうです この地図には 日本がありません
世界には
日本を知らない子どもたちが
たくさんいます

ところでキミたちは外国のことを
どのくらい知っていますか？
アフリカといえば
どこでも あついと思うでしょう
でも 雪の降る山もあるのです



JICA LIBRARY



1018748[2]

「こんにちは」の各国語

人びとの生活は 国によって
ずいぶん ちがいます
たとえば 気候によって
着るものも
食べるものも ちがいます
住む家も ちがいます

日本人のキミは はしで食べますね
ナイフとフォークで食べる国もあれば
右手の五本の指を使って
食べる国もあります

どれも 昔からの習慣です

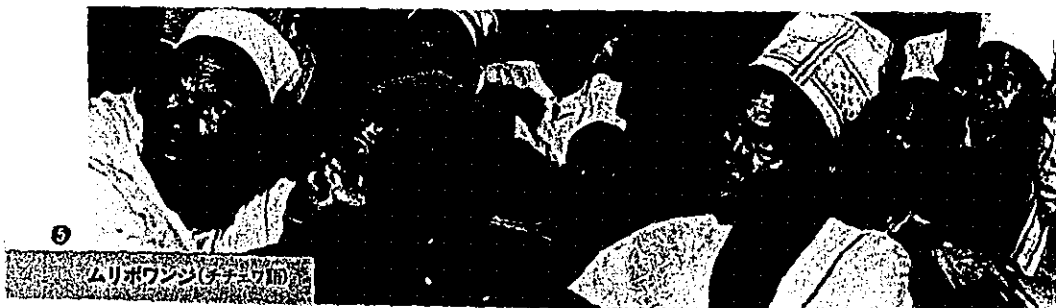


④
スラマ・バギ(マレー語)



アジアやアフリカやラテン・アメリカには
多くの困難な問題をかかえた
おかれているといわれている国々には
あります
なぜ おくれた国なのでしょう
なにが おかれているのでしょうか
いまは みな独立国ですが
これらの国々にの ほとんどは
昔は 外国に支配されていました

豊かな資源は持ち去られ
人びとは どれいのように 働かされました
いっしょうけんめいに働いても
いつも貧乏でした
貧乏な家の子どもたちは 学校にも行けず
おとなといっしょに
働かなければならなかったのです
なまけていて
おくれた国に なったのではありません



おくれた国になったのは 外国の支配によるものです
たとえば_____

ラオスは1947年までフランスに支配されてきました ラオス人の国なのにフランス語ができないとバカにされました フランスが建てたりセという学校を卒業しないと 学校の先生になれませんでした
でも いまはちがいます
ラオスのすべての子どもたちは みんな学校でラオス語をいっしょうけんめい勉強しています だって ラオスの人びとは昔からラオス語をつかってきたのですから

インドには 850ものことばがあります 互いのことばが通じないと英語で話します イギリス人がインドを300年以上も支配したからです 彼らはインド人に綿花やアヘンをつくらせ それを売って大もうけしました でもインド人の生活は苦しくなるばかり そこでみんなで力を合わせ 1947年にやっと独立をかちとりました
いまもインドには 今日の食べものもない人が大ぜいいます でも お金持ちの中には イギリスへ留学し イギリス人よりもぜいたくに暮らしている人もいます

⑥



「学校の給食って 好きかい？」

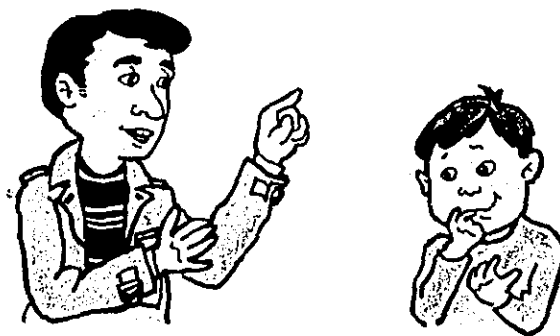
「うん まあね でも残す子もいるんだよ」

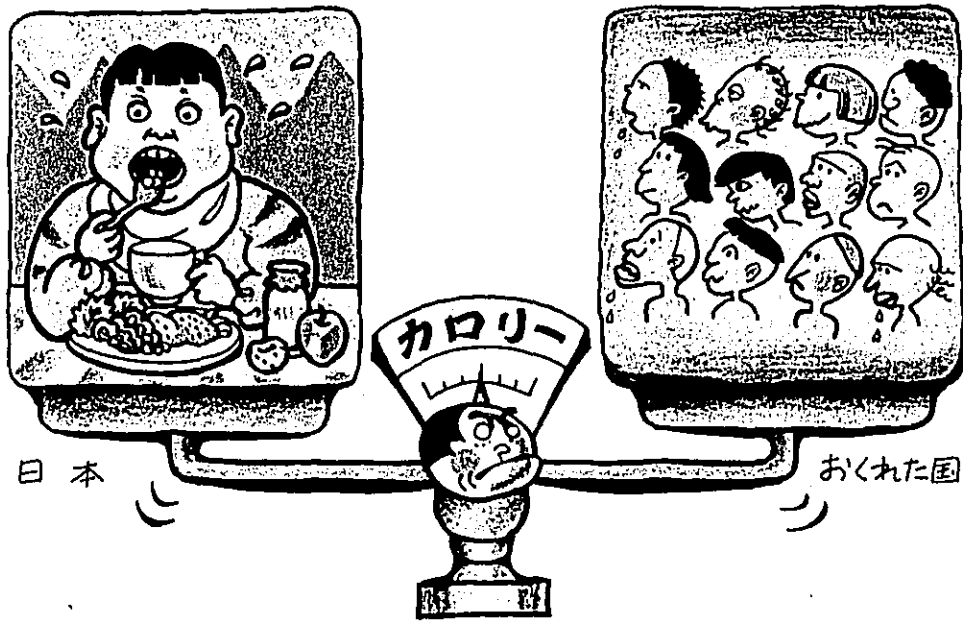
「もったいないなあ このあいだ

テレビで見たけど キミたちの給食の1人分はね

インドの子どもたちの4人分なんだってさ」

「へー そんなに？ ボクたち食べすぎかなあー」





イン

わたしの家族

ブンペーン(12才, ラオス)

わたしの きょうだいは7人です
でも ほんとうは12人いました
あとの5人は
生まれてすぐに 死んでしまいました

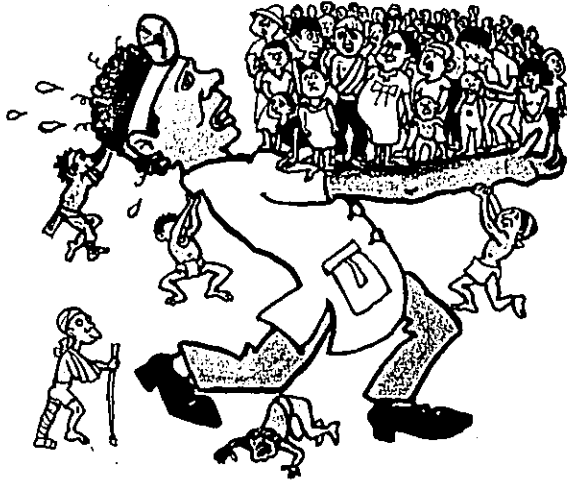
わたしが8才のときに
お父さんが死にました 盲腸でした
村には お医者さんがいないので
100キロはなれた町へ
バスにのって いったのですが
手おくれでした

大きくなったら わたしはお医者さんになって
村の人びとのために なりたいと おもいます

①



おくれた国



日本



ライス

®

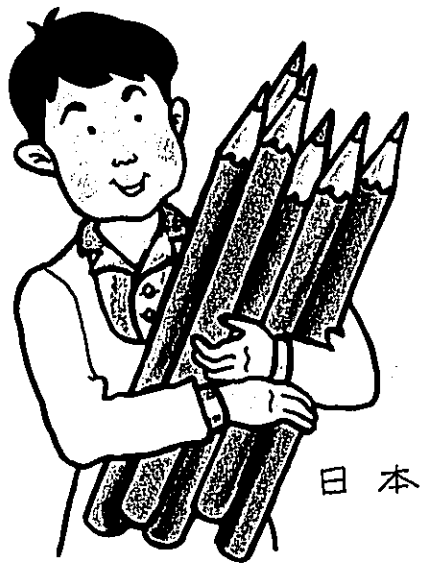
ぼくの学校

トーマス・ムズレイ(9才・タンザニア)

ぼくの村に 学校ができました
教室は教会の中に あります
先生は スウェーデンの人です
ぼくのお父さんも お母さんも
学校へ行きませんでした
学校がなかったのです
だから字を読むことも 書くことも
できません
ぼくは 毎日休まずに学校へ行き
お父さんとお母さんの分まで
勉強したいと思います

①

ハムリ・ガニ(スワヒリ語)



日本



おくれた国

®

タンザニア ケニア



①
ナマライコン(7577)

マリーの弟は病気で
川の水を飲んだからです
ほっておくと 目がみえなくなってしまう。

村には水がありません
5キロもはなれたところにある井戸へ
毎日水をくみにいきます

水くみは 女の人の仕事です
マリーも毎日おかあさんのお手伝いです
学校へも行けません

いま 村の人たちは
手押し車を 何台もつくっています
あの重い水がめを 手押し車で運べるようになったら
どんなに楽になるでしょう



フリテ、チュニジア、モロッコ

日本の私たちは 食べるものもあります
病気になるば お医者さんもいるし
大きな病院もあります
小学校や中学校へは だれもが行けます
高校や大学へも 行けます
エンピツや ノートもあります

私たちは こういう豊かな国に生まれ 住んでいます
でも 地球上のすべての国の人びとが
豊かにくらすことは できないのでしょうか？

世界のどこかで
学校へ行けない子どもがいるとしたら
人びとが 飢えや病気で苦しんでいるとしたら
本当に豊かで平和な世界は できません



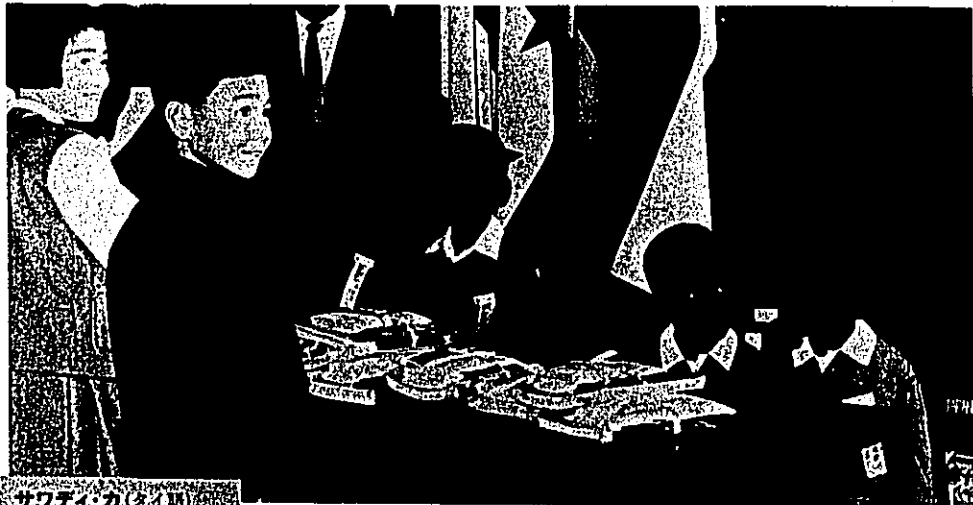
⑫

チャオ (ベトナム語)



アメリカやヨーロッパの豊かな国々には
アジア アフリカ ラテン・アメリカの
おくれた国を すすんでえん助しています

たとえば ダムの建設 かんがい 道路づくり
港 鉄道 水道 電気などの工事



①
サウジアラビア

日本も えん助をしています
とくに アジアの国ぐにへ えん助をしています
えん助のしかたは いろいろあります
お金を貸したり
病院や学校などの施設を きふしたり
薬やレントゲンなどの器具をあげたり
さまざまな えん助を 日本はしています
困った問題を かかえた国に出かけて行って
その国の人たちと いっしょに働くことも
えん助のひとつです
村で農業指導をする人
病院で働く看護婦さん
学校で体育を教える先生
このように アジアの国ぐにて働いている
日本人は たくさん います

国際機関でも おくれた国の人びとに

さまざまなえん助をしています たとえば—————

こくさいじやうりやうのうたうきかん
FAO (国際食糧農業機関)

は 地球上から飢えている人をなくす運動をしています 食糧の生産のふやし方やバランスのとれた栄養のとり方を研究して おくれた国の人びとの手つだいをしています

せかいほけんきこう
WHO (世界保健機構) の仕

事は 世界中の人びとがいつも健康でいられるようにすることです 天然痘やコレラなどのおそろしい病気をなくす仕事も大事な活動のひとつです

こくねんじどうききん
ユニセフ (国連児童基金) は

子どものための機関です 世界中の子どもたちが 食べものや病気の心配をせずに 安心して学校へ行けるようになるのが仕事です この本にのっている写真の一部はユニセフのものです

⑩

ブエノス・アルデス(スペイン国)

ユネスコ（国連教育科学文化機関）では おくれた国ぐにの学校に机やイスや黒板などを贈る活動をしています。ピラミッドなど古い遺跡を保存する活動もしています。この本の表紙の絵（インドのシェカール君のかいたもの）や多くの写真はユネスコのものです。

日本ユネスコ協会は
〒100 東京都千代田区九ノ内1-6-1
TEL. 03(214)2991



20

エレサノラ・ドル・コスタリカ

わたしは 南太平洋の島に住んでいます
さんごしょうの美しい 海に囲まれた島です
パイナップル マンゴー パパイアなど
島のいたるところで とれます

でも わたしの村には お医者さんがいません
病人がでると いつも大へんなさわざです
自動車がないので 病人を町の病院まで 運ぶのが大へんです
こんなとき 自動車があれば……いつも私たちは
そうやってました

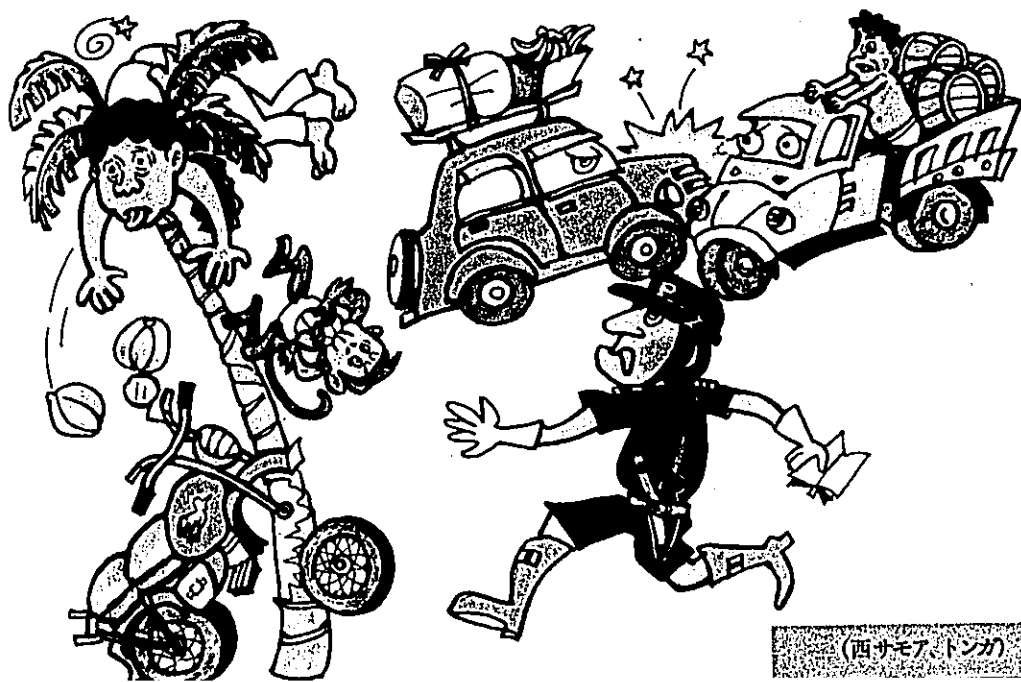
ある日 外国から自動車とオートバイが
たくさん 到着しました もう心配はありません
私たちは みんな よろびました

でも困ったことになりました
交通事故が おきるようになってしまったのです
3人いる おまわりさんは とてもいそがしそうです
前は ひとりでも ひまそうだったのに……



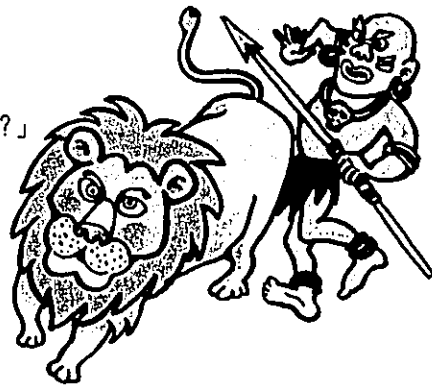
①

マロレレイ (サモア語)



②
(西サモアトシカ)

「アフリカでは はだかの土人が ヤリで
ライオンを殺すって ホント?」
「人くい人種がいるんでしょ?」
「ごはん 手でたべるって! きたくないの?」
「地べたにねるって ホント?」



「日本語って 中国語と同じなの?」
「日本の家は 木と紙でできているのですって?」
「日本人は みんなキモノを着ているんでしょう?」
「バナナ 日本でも とれるの?」

28

マアヨ(ビナヤ箱)

世界には まだまだ 私たちの知らないことが
ずいぶんありますね

私たちは 外国のことを
テレビや ラジオ 映画などで知ることができます

しかし その国で
人びとが どのような生活をしているのか
子どもたちは
どのように勉強し 遊んでいるのか
あまり 私たちは知りません

同じことが 外国の子どもたちにも
いえると おもいます



国がちがえば ことばや習慣も ちがいます
食べるものも 着ているものも 住んでいる
家も それぞれちがいます

考え方だって ちがうかもしれません
おたがいが よく理解しあっている
ともいえません

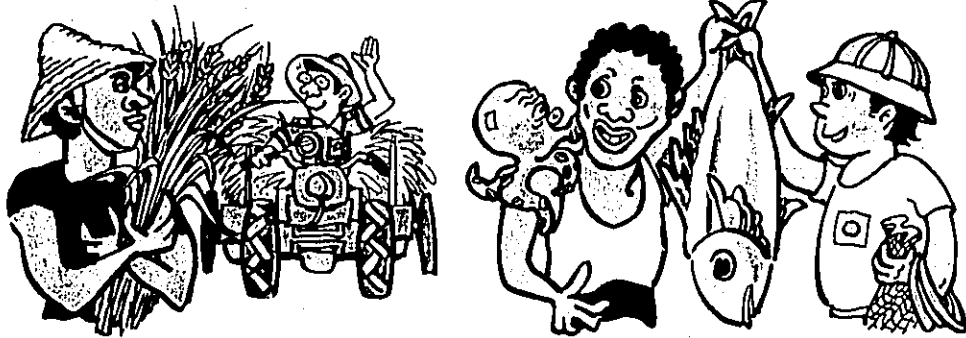


だからまず おたがいの間に
ちがいのあることがわかる
これが大切なことです
仲良くするための 第一歩です



テナスツリン(アムハラ種)





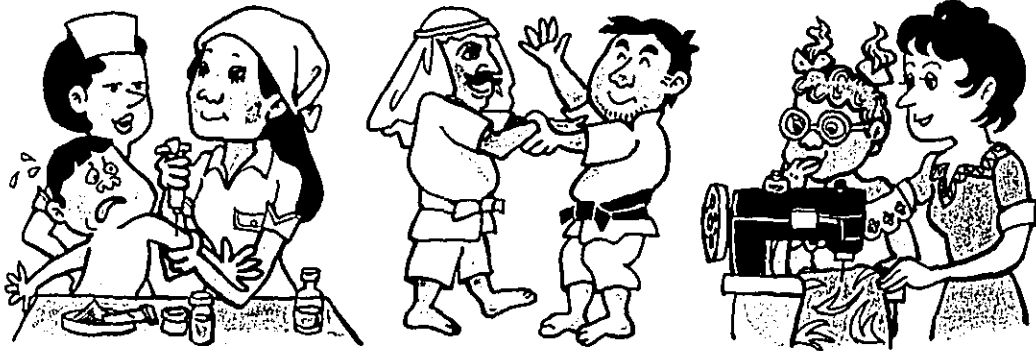
クラスの中村君が
きょう 1枚の絵ハガキを
持ってきました
ハガキはエル・サルバドルから
送られてきました
中村君のお兄さんからです

お兄さんは 大学を卒業して
しばらく
会社に つとめていました
きょう 会社をやめて
エル・サルバドルへ
行ったのです

中村君にきいたのですが
お兄さんはエル・サルバドルで
トマトやキュウリのつくり方を
村の人たちに
教えているのだそうです

29

マガンダンハボンボ(タガログ語)



エル・サルバドルには
中村君のお兄さんの他に
学校で絵を教えている人
機械の修理のしかたを
教えている人
体育の先生など

おおぜいの日本人が
エル・サルバドルのために
働いています

そういう お兄さん
お姉さんたちのことを
先生からきました
青年海外協力隊というのだそうです

⑩

フリレン

ここまで読んだキミは
世界にはどんな国があるのか
アジアや アフリカや
ラテン・アメリカの国ぐにて
人びとが どのようにくらしているのか
よくわかったと おもう

キミと同じような子どもたちのようすも
理解できたとおもう

さあ つぎはキミの番だ！
キミなら何ができるか？

もしかしたら
キミは もう会員になっているかもしれないけど
いろんな 青少年団体が
アジアやアフリカやラテン・アメリカの
子どもたちと 交流している
たとえば ………

①

アンニョン、ハジムニカ(朝鮮語)

バングラデシュの子どもたちに
鉛筆やノートを送ったり

————— YMCA

アジアの国々に子どもたちと
文通をしたり

————— 郵便友の会

ベトナム ラオス カンボジアへ
赤ちゃん用のタオルの肌着を送っている

————— 青少年赤十字

ネパールへ
ふるい切手をあつめて売ったお金で
結核のくすりを送っている

————— キリスト教海外医療協力会

アラブの子どもたちに
おこづかいをためて送っている

————— ユネスコ協会

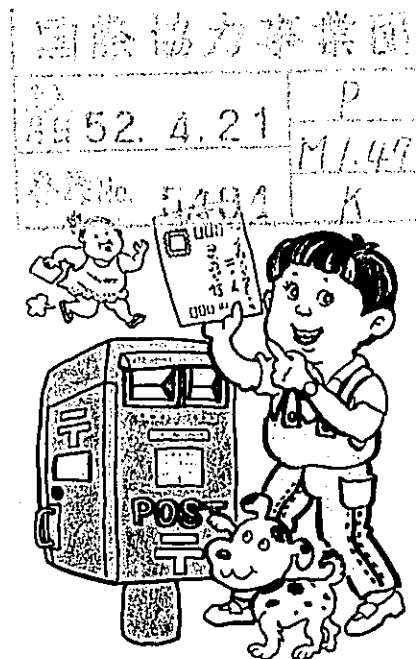


⑫

WORLDWIDE

もっと外国のことを知りたいキミ
 外国の子どもたちと
 お友だちになりたいとおもっているキミは
 つぎの団体に手紙を出そう

- 日本赤十字社青少年赤十字
 〒108 東京都港区芝 5-29-12
- ボーイスカウト日本連盟
 〒181 東京都三鷹市大沢 4-11-10
- ガール・スカウト日本連盟
 〒151 東京都渋谷区代々木神園町 3-1
- 日本郵便友の会協会
 〒106 東京都港区麻布台 1-6-19
- 中央青少年団体連絡協議会
 〒100 東京都千代田区永田町 1-11-35
- 青少年育成国民会議
 〒151 東京都渋谷区代々木神園町 3-1



郵便はがき

20円切手
をはって
ください

150-□□

東京都渋谷区広尾

四十二二十四

青年海外協力隊事務局

広報課 行

キミの部屋に“パネル”をかざろう！



海外でボランティア活動をしているお尻さんや
お姉さんがとってきた写真をキミにあげたい。
アジアやアフリカやラテン・アメリカの子ども
たちがうつつているものもある。ほしい人は……

このハガキのうらにかいてほしい。絵でもいい、
イラストでもいい。マンガだっかまわらない。
作文の得意なキミは、作文をかいてほしい。外
国の子どもたちは、日本のことをもっと知りた
がっている。キミのうちのこと、友だちのこと、
学校のことをわかりやすくかいてほしい。
パネルは抽選であげる。

しめきりは、1977年11月30日(水)。

ポストに入れる前に20円切手をはるのを忘れないように！

今日、私たちは「国際化時代」に生きて
いるといわれています。

世界中の人びとが、人種、言語、生活、習慣
のちがい、そして国境を越えて、協力しあ
うことが、国際化時代の課題であります。
しかし、協力しあうには相手を理解するこ
とが前提です。おたがいを「理解する努力」
が、世界平和のためにも、さらには、人類
社会の発展のためにも、不可欠であります。

外国を理解する努力は、わが国において
は、これまで欧米偏重のきらいがありまし
た。いわゆる第三世界といわれるアジア、
アフリカ、ラテン・アメリカに対する人び
との関心はひくく、理解する努力は充分な
されていざといえませんが、

国際化時代の日本にとって、今後ますます
第三世界との相互協調が要請されている
ことはいうまでもありません。

こうした現状認識に立ち、私たちは開発
途上にある第三世界への関心と理解を深め
るための手がかりとなる小冊子をつくりま
した。対象は小学校高学年以上の子どもた
ちです。できるだけわかりやすく説明する
努力をしたつもりですが、いわゆる南北問
題が複雑なうえ、はじめての試みであった
ために、十分な出来ばえとはいえません。

今後さらに、適切なものをつくりたいと
考えております。ご意見をおきかせ下さい。

(編集委員一同)

なまえ

住所

() (才) ()

編集●「結びあう世界」編集委員会
発行人●黒河内 康(青年海外協力隊事務局長)
発行所●国際協力事業団
青年海外協力隊事務局
東京都渋谷区広尾4-2-24 TEL.03-400-7261

無断転載を禁ず

制作■A P企画
印刷■邦美印刷株式会社
1977年3月発行

